

2026年1月22日

トヨタホーム株式会社

トヨタホーム近畿株式会社

## トヨタホームの鉄骨ユニット工法で被災地寺院を再建

トヨタホーム株式会社（名古屋市東区泉 1-23-22、代表取締役社長 西村 祐）およびトヨタホーム近畿株式会社（大阪市西区立売堀 3-1-14、代表取締役社長 吉次 孝幸）は、令和6年に発生した能登半島地震により被災した石川県珠洲市の寺院・真宗大谷派（東本願寺）勝安寺の御堂の再建を鉄骨ユニット工法を用いて実施しました。

トヨタホームグループでの鉄骨ユニット工法を用いた寺院建築は本件で4カ寺となります。寺院建築は木造が主流ですが、工場生産による安定した品質と高い耐震性能を備えた同工法を活用することにより、将来にわたり安心して利用できる寺院建築の提供に取り組んでいます。また、強靱な構造体による大開口・大空間の実現という同工法の特長を活かした明るく開放的な本堂など、これまでハウスメーカーとして工業化住宅で培ってきた技術やノウハウを活用し安全で快適な空間を実現しながらも、御本尊を安置する御内陣をはじめとした伝統的な寺院建築の造りや佇まいにも配慮しご要望にお応えしています。

そのような取り組みを進める中、地震への強さや工場生産による短工期などを評価いただき、今回、真宗大谷派（東本願寺）勝安寺の再建を請負うご縁をいただきました。

再建にあたっては宮大工の方々や地元および近畿地方の職人の方々のご協力も得て、昨年12月に竣工・引渡しをしました。再建後の御堂は寺院建築としての趣深さを残しつつも鉄骨ユニット工法による地震に強く大空間の建物となっており、地域の方々の拠り所になってほしいという御住職の思いに沿った建物となっています。

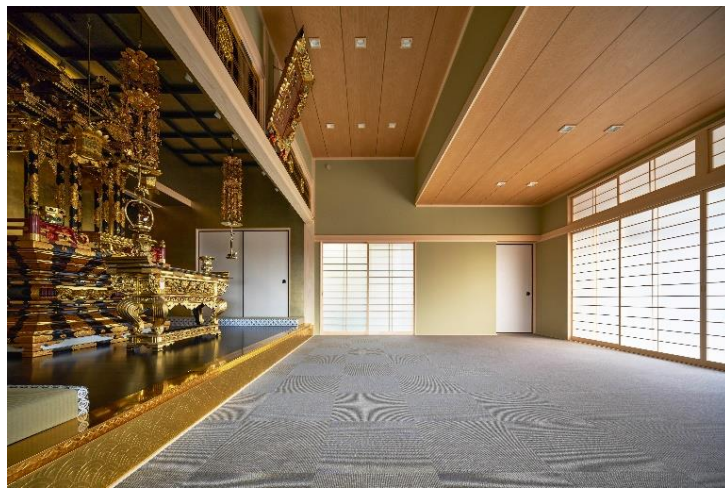
今後も、能登半島地震の復興に貢献するとともに、寺院建築をはじめとする多様な建築分野でお客様のニーズにお応えしながら、安全・安心な建築の提供に取り組んでまいります。



《御堂内観》



《御堂外観》



《鉄骨ユニット工法を活用した大空間の御堂》

以上

未来をまちづくり **PLT** Group

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくり PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、顧客課題と社会課題の解決に取り組んでいます。

※プライム ライフ テクノロジーズ(株)は、2020年1月にパナソニック(現パナソニックホールディングス)とトヨタ自動車が発立し、三井物産を加えた3社を株主とする会社です。